

## 令和5年度第3回 半田市地域福祉計画推進委員会会議要旨

開催日時	令和6年2月6日（火）	10時00分～11時30分
開催場所	市役所大会議室（4F）	
会議次第	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 議事 (1) 第2次半田市地域福祉計画の中間見直しについて (2) 令和6年度事業予定について (3) 第3次半田市地域福祉計画の策定スケジュール（案）について (4) その他 ①共助の地域づくり事業の評価について ②その他 4. 事務連絡 5. 閉会	
出席者	<b>【委員】</b> ◎は委員長 溝口 昭弘、小栗 照夫、山田 嵩、森川 武彦、立石 佳輝、 ◎鷺野 林平、下村 裕子、柴田 将人 <b>【半田市 関係課】</b> 生活援護課 長谷川 信和、高齢介護課 沢田 義行、健康課 竹内 健、 子育て相談課 三輪 象太郎、学校教育課 中井 康友 <b>事務局</b> <b>【半田市】</b> 福祉部長 竹部 益世、地域福祉課 杉江 慎二、吉澤 伸博、清水 太士、 榊原 沙恵、黒野 隼 <b>【半田市社会福祉協議会】</b> 事務局次長 前山 憲一、中根 靖幸	
次第	議事概要	
1. 開会	（地域福祉課長） ・令和5年度第3回半田市地域福祉計画推進委員会を開会します。 ・本日は、NPO 法人知多地域権利擁護支援センター 今井委員が欠席です。 ・机上に次第を配付しましたので、差替えをお願いします。ページ番号を付したもので、 内容の変更はありません。	
2. 委員長あいさつ	（鷺野委員長） ・令和6年能登半島地震で大変な被害がありました。1日も早い復興を願います。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の地域福祉計画にも防災・減災の推進について掲げていますので、今般の状況も踏まえ、委員のみなさんから忌憚のないご意見をご発言いただきたいと思ひます。</li> </ul>												
<p>3 議事</p> <p>(1) 第2次半田市地域福祉計画の中間見直しについて</p>	<p>(鷲野委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、次第に沿って議事を進行します。</li> </ul> <p>(事務局&lt;市&gt;)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の修正をお願いします。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ページ数</th> <th>修正前</th> <th>修正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>300人/年</u></td> <td>目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>350件/年</u></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>「くらし相談室」自立支援件数に関する記載</td> <td>(削除)</td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>300人/年</u></td> <td>目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>350件/年</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>○資料1により説明。</p> <p>(柴田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中間評価について、本来は“◎：ほぼ達成できた（以下「◎」という。）”であっても、控えめに評価して“○：ある程度が達成できた（以下「○」という。）”とした項目はありますか。推進施策によっては、“◎”に当たる項目もあると思ひます。控えめに評価することで、本来できているのに実施できていないと市民から評価されてしまうのは良くないと思ひます。</li> </ul> <p>(事務局&lt;市&gt;)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員のみなさんひとりずつに“◎”、“○”等で評価していただいたものを一覧にし、委員長と相談しながら、総合的に判断した結果を中間評価としています。</li> </ul> <p>(柴田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に力を入れた推進施策があると、市民にとっても分かりやすいと思ひました。</li> <li>P.20 弁護士の生活困窮者への関わり方については、全国の弁護士に対する私の思ひであり、これによって半田市の施策の評価が下がるものではないため、“◎”が妥当だと考えます。</li> </ul> <p>(下村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他に、事務局として“◎”だと考えたところがあれば、その取組について教えてください。</li> </ul> <p>(事務局&lt;市&gt;)</p>	ページ数	修正前	修正後	13	目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>300人/年</u>	目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>350件/年</u>	21	「くらし相談室」自立支援件数に関する記載	(削除)	39	目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>300人/年</u>	目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>350件/年</u>
ページ数	修正前	修正後											
13	目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>300人/年</u>	目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>350件/年</u>											
21	「くらし相談室」自立支援件数に関する記載	(削除)											
39	目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>300人/年</u>	目標値（令和7年度） 「くらし相談室」自立支援件数 <u>350件/年</u>											

・P.13 ふくし相談窓口等の拡充について、自己評価を“◎”にしました。住民にとって身近な相談窓口として、福祉事業所の協力を得ながら窓口の拡充ができていると思います。

(鷺野委員長)

・自法人でもふくし相談窓口の看板を掲示しています。相談件数は少ない現状ですが、まず、「身近な相談窓口を設置していく」ということについては、各地域で進められていると思います。

(立石委員)

・相談窓口の拡充については、各地域で進められているため“◎”で良いと思います。“◎”の評価になったからといってその取組をやめるのではなく、次にどのようにつなげていくのが大切です。

(溝口委員)

・“◎”で良いのではないのでしょうか。

(鷺野委員長)

・では、推進施策（１）ふくし相談窓口の拡充について、及び（３）生活困窮者等自立支援の充実については、“◎”と評価してよろしいでしょうか。

(委員一同)

・異議なし。

(柴田委員)

・P.40 孤独・孤立対策推進法の施行については、今後、どのように取り組んでいきますか。

(地域福祉課長)

・孤独・孤立対策に関して、個別に施策を立てることは非常に難しいと感じています。既存の事業について、望まない孤独・孤立の状態にある方への視点をもって取り組んでいきます。また、孤独・孤立を感じている方の背景は多様で、福祉分野だけでは対応が難しく、産業や教育分野など他分野との連携が必要になります。

(下村委員)

・孤立している家庭は、支援者や行政機関から見えにくいですが、地域の目があると気付けるかもしれません。市民に対して、半田市の地域福祉の考え方を伝え、行政や個人だけではできない取組に対して、地域でできることを考えてもらうきっかけづくりを行うなど、地域への意図的な働きかけが必要だと思います。

(地域福祉課長)

・第３次地域福祉計画では、多くの市民を巻き込んで作成を進めていきます。地域課題を正確に捉え、事務局の意見をしっかり伝えながら、市民へ働きかけをしていきたいと思っています。

<p>(2) 令和6年度事業予定について</p>	<p>(事務局&lt;市&gt;)</p> <p>○資料2により説明。</p> <p>(立石委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P.66 福祉系学部の学生に対しては、大学のゼミ等を通じてつながりづくりができていますが、福祉系学部以外の学生に対しては、サークルや企画を通じた個別のアプローチに留まっています。また、福祉人材確保のために、「わがまちの学生が、わがまちの福祉にどのように関わっていくか」について考えることが今後の課題のひとつです。</li> </ul> <p>(下村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協と既にならつながりがある、半田商業高校や半田農業高校にアプローチすることも良いのではないのでしょうか。</li> </ul> <p>(立石委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、大学生向けの内容とは異なる見せ方で伝えていきたいです。</li> </ul> <p>(溝口委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀崎の空き家対策としてシェアハウスをしている日本福祉大学の学生が、KOO で活動することが引き継がれています。また、KOO ジュニアで中学校を卒業してから、福祉や人助けに興味をもって、活動に戻ってきてくれる学生も多くいます。</li> </ul> <p>(事務局&lt;社協&gt;)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半田東高校、半田農業高校、半田商業高校など、ふくし共育を通じてつながりがあるため、担当の先生と調整していきたいと思います。また、CSW として個別支援を進めている中でも、進学先の高校との連携は進めていきたいところです。</li> </ul> <p>(森川委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、一般企業の給与が上がっており、福祉への求人が下がっている状態です。ふくし共育やウェルフェアワークスなど、いろいろな事業が単独で完結するのではなく、連携して、未来の福祉人材に対して伝えられると効果的だと思います。</li> </ul> <p>(下村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいサロンなど、いろいろな場所での活動を通じて伝えていくとよいと思います。</li> </ul> <p>(溝口委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉だけが切口ではなく、災害など他のきっかけを通じて、地域福祉について伝えられることもあると思います。</li> </ul> <p>(鷲野委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくし人材の確保については、様々な機関と連携しながら進めていくことが大切です。</li> </ul> <p>(小栗委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P.64 個別避難計画について、要支援者にとっては市に提出することだけが目的となってしまうと感じていて、内容の精査が必要です。もともと民生委員が作ったものではないので、内容についても一緒に検討しながら、災害時に活用できるものに</li> </ul>
--------------------------	---

	<p>してほしいと思います。  (地域福祉課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別避難計画の作成が目的にならないよう、要支援者本人や家族への自助の意識づけを進めているところです。計画の作成によって、すべての人を助けられるわけはありませんが、少しでも多くの方が助かるように、有効性があるものを作っていきたいと考えています。</li> </ul>
(3) 第3次 半田市地域福祉計画の策定 スケジュール (案) について	(事務局<市>) ○資料3により説明。 (下村委員) <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の人の意見や、子どもの視点を忘れずに計画に入れてほしいと思います。子どもを見ると周りの大人や地域が見えてくるため、地域福祉には重要な視点です。</li> <li>・デジタル化が進み、ボタン一つで様々なことができるようになった社会ですが、支えあえる体制づくりをするため、活動場所に足を運ぶなど、時代に逆行するような気持ちで策定してほしいと思います。</li> </ul>
(4) その他 ① 共助の地域づくり事業の評価について	(事務局<市>) <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度を通して評価をしていただくために、来年度の第1回推進委員会で評価をいただくこととします。</li> </ul> (鷺野委員長) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画推進委員会が評価機関ということでしょうか。</li> </ul> (地域福祉課長) <ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりです。ご協力をお願いします。</li> </ul>
(4) その他 ② その他	(溝口委員) <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策について、防災・減災の観点でも重要だと思いますが、有効な施策は検討されていますか。</li> </ul> (福祉部長) <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策については、建設部が力を入れて取り組んでいます。市内でも空き家を特定空き家として指定し、行政代執行で壊した実績があります。今後、防災・建築部門と協力して進めていきたいと考えています。</li> </ul> (事務局<社協>) <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年能登半島地震で、富山県氷見市社協と災害協定を結んでいるため、現地に職員を派遣しており、空き家を含め、倒壊家屋が多くある状況でした。地域福祉だけでなく、防災部門との連携が重要です。</li> </ul> (鷺野委員長) <ul style="list-style-type: none"> <li>・では、進行を事務局にお返しします。</li> </ul>

4. 事務連絡	<p>(地域福祉課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷺野委員長、ありがとうございました。</li> <li>・それでは、事務局から事務連絡です。</li> <li>・中間見直し版については、今年度中に作成し、委員の皆様にお送りします。</li> <li>・委員の任期についてお知らせです。今年度末をもって委員の任期は終わります。長年にわたりご協力いただき、ありがとうございました。</li> <li>・第3次地域福祉計画は、新しい体制で策定を進めてまいりますので、来年度以降の委員については、改めてお声かけさせていただくこともありますが、その際はよろしくお願ひします。</li> </ul> <p>(福祉部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりが希薄化している中で、地域づくりがとても大切だというご意見をいただきました。地域のことを一番知っているのは地域の方で、その後の体制をしっかりとないでいくことが行政の仕事です。市民の皆様と連携して、今後も進めていきたいと思ひます。</li> <li>・地域福祉はふだんの暮らしの中でも続いていくことだと思ひますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願ひします。長年にわたり、ありがとうございました。</li> </ul>
5. 閉会	<p>(地域福祉課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これをもちまして、令和5年度第3回半田市地域福祉計画推進委員会を終了します。ありがとうございました。</li> </ul>
	(終了)